

2020年度第3回教育イノベーション大会運営委員会議事録

- I. 日時 令和3年1月21日(木) 10:00~12:00
場所 Zoom 会議室
- II. 出席者 向殿委員長、望月委員、今泉委員、川村委員、大島委員、阿部委員、小林委員、原田委員、寺田委員、尾崎^{ドバイ}、木村^{ドバイ}
事務局：井端事務局長、野本

III. 検討事項

1. 9月2日~4日に開催した「私情協 教育イノベーション大会」の振り返りについて、アンケートを確認し、以下のような意見があった

- ・ アンケートでは、良かったとの評価が多く寄せられた。内容では、特にオンライン授業や著作権に多くの興味・関心が伺えた。また、オンラインでの開催運営にも理解を得られたようであった。
- ・ オンラインで初めて開催したが、全体的に上手くいったのではないかと。また、予算的な比較では、会場費のコスト削減は期待できる。
- ・ 12月に開催した職員講習会では、学生の立場をテーマに行ったので、情報提供の一つとして学生支援に関して考えてはどうか。
- ・ オンラインの場合は、参加している臨場感やボリューム感がなく工夫がほしい。また、質問者が少なく、あっても偏った参加者の挙手であった。
- ・ Zoomでは、ミーティング形式とウェビナー形式があり、セミナーなどはウェビナー形式で制御をかけて実施するのが一般的だが、参加の臨場感を向上する意味では、3日目の発表はミーティング形式で行っても良いのではないかと。
- ・ 企業プレゼンの応募がなく中止になったが、最新システム案内など興味があり、短い時間で良いが何か紹介など配信形式でも実施できないかと。賛助会員に参加方法などの可能性をヒアリングしてはどうか。他の学会では、1分間の企業PRを流す対応をしていた例があるとのことであった。

2. 2021年度大会3日目発表募集要項について、案が提示され、検討を行い確定させた。

- ・ オンライン会場：Zoom 会議室という表記について、違和感を感じる意見から、Zoomによるオンライン開催の表記を用いることにした。
- ・ 発表・内容の項目について、遠隔授業は、オンライン授業など広く考えられることから「(リアルタイム型、オンデマンド型、ハイブリッド型など)」の表記を追加することにした。また、教育の点検評価は、測定の取組み発表もあることから、「教育効果の測定と評価」の表記にすることにした。
- ・ 参加費や締切日などの記述で、誤字・脱字・文字サイズ違いの指摘が数点あり修正した。
- ・ 発表方法は、Zoom またはビデオにより行うことを確認したが、説明表記について指摘があり、分かりやすい説明に修正した。また、発表者確定後に、個別にどちらを選択するか確認することにした。その際、Zoom 接続の通信環境が十分か、注意を促すことにした。

IV. 今後のスケジュール

来年度の「私情協 教育イノベーション大会」は、9月6日~8日で開催することになっている。